

Peace Concert in Nagayo 2018

平和コンサート

Vol. 19 inながよ



2018 8/5 日 長与町民文化ホール 開演 14:00

ごあいさつ

長与町長 吉田 慎一

本日はご来場いただき誠にありがとうございます。

指方実行委員長をはじめ、実行委員会皆様のご尽力により、「平和コンサートinながよ」が開催されますことを、心より感謝申し上げます。

このコンサートは、平和の尊さ、そして戦争の惨禍の記憶を風化させることなく、コンサートを通じて後世に引継ぎ発信していこうとの思いから開催しており、今年で19回目を迎えます。

被爆から73年が経過し、戦争あるいは原爆の悲惨さ、むごさなど、記憶の風化が懸念されるなか、長与町では、平和祈念事業の一環として、平和への祈りをこめた合唱や演奏、詩の朗読を行い、音楽を通じて平和の尊さを次の世代に伝えてまいりました。

今年も音楽に祈りを込め、平和への想いを発信していただけることに、心から感謝申し上げます。

長与町では、核兵器の廃絶と恒久平和を願い、平成6年に「平和で安全な町」宣言を行い、その後様々な平和事業に取り組んでまいりました。

本日のコンサートにつきましても、恒久平和を念じた運動として平和が永遠に続くよう祈りを音に乗せ、長与町から発信してまいります。本日はお時間の許す限りごゆっくりと「平和コンサートinながよ」をご堪能ください。

今年も、高校生による「平和の詩朗読」をはじめ、5月から一生懸命練習した子どものための弦楽器講座の皆さんや、町にゆかりのある皆さんによる演奏や合唱、そして長崎OMURA室内合奏団の皆さんによる演奏を披露していただけることになっており、楽しみにしているところです。

また、ホワイエに音楽と平和をイメージしたイラストを展示しております。こちらは、皆様に千羽鶴を貼り付けていただき、皆様の祈りを乗せていくことにより完成いたします。そちらの方もご覧いただき、ご協力をお願いしたいと思っております。

結びに、本日のコンサートに出演される皆様、ご指導いただいた皆様、裏方として支えていただきました皆様、そして本日お越しいただいた皆様に、心より感謝申し上げます。そして、すべての皆様とともに、平和の祈りが世界のあらゆる人々の心に届きますことをお祈りし、挨拶といたします。



ごあいさつ

平和コンサートinながよ実行委員長 指方 浩

皆さん今日は「平和コンサートinながよ」にお越しくださいませありがとうございます。このコンサートは長崎市に隣接する被爆地として救援活動を行った長与町から平和を発信しようと、2000年8月にここ長与町民文化ホールで「第九交響曲」が演奏されて以来、毎年多くの人の熱意・尽力・協力のもと「平和コンサート」が開催され、今年で19回目を迎えました。今日はその歴史の願いを受けて子どもたちから中・高生、大人まで、そして会場にお越しくださいました皆様の篤い思いとともに、新たな気持ちで平和の願いを感受するコンサートを持ちたいと思っています。

混乱と不安の渦巻く時代の中で、音楽は私たちに何を啓示してくれるのでしょうか。リズム・旋律・ハーモニーを作り出す音符の数々、時として主張して不協和な音がぶつかり、そして協調しあう、しかもどれ一つとっても音楽として生かされていない音はない、音楽は調和の世界です。そして「平和コンサートinながよ」出演を縁として楽器を手にした子ども達は、皆様の声援により、お互いに協和する響きを求め協調しあう心を育み、「♪どの花みてもきれいだな」と、感性豊かな自分の花を咲かせようと練習してきました。中・高生のその真剣な言葉と声と音による表現は、率直で私たちの心に真に迫ってきます。それを受けて私たちも過去を語り今を考え合い、未来に向けてこのコンサートを共に作り共有することで恒久平和への思いを「よろこびの歌」として表現しようではありませんか。

争いは生活を破壊します。力を持ったものがその立場や地位を利用して、便宜を図り主張し他を威圧することなく、お互いの違いを理解し合い、ともに生きていける平和な人間社会の実現への方向性を、音符の数々が織りなす音楽の演奏の響きの中に感じたいと思います。

今日、私たちが一歩行動を起こし、思いを共にして平和コンサートを開催できますことは素晴らしいことです。さらに一年日常の日々の中で、今日の音楽のような調和の世界を考えていただける生活を営むことが出来たらと思います。その常日頃の思いに押し出されてまた来年、この会場でお会いいたしましょう。後日、縁あってこのプログラムを手にとられ読まれた方は是非来年の第20回「平和コンサートinながよ」にお越しください。

この企画を開催し続けてきた長与町に感謝の意を表します。「平和コンサートinながよ」が町歌の歌詞にあります「♪平和な里わが町長与」から「平和で安全な町」宣言を行った長与町民の手作りコンサートとして、これからも世に発信され続けることを願ってやみません。





「平和で安全な町」宣言

－核兵器の廃絶を願って－



平和祈念碑「愛・二人」

世界の恒久平和は、人類共通の願望である。

現在・未来を通じて、平和で安全な町づくりを念願する私たち長与町民は、平和で安全な郷土を築き、子孫に引き継ぐことが、今を生きる私たちに課せられた最大の責務である。

原爆によって、長崎市とともに凄惨な被害を被った長与町は、核兵器の脅威をなくし、世界平和と人類の恒久的な安全・生存を保持するため、非核三原則を守り、核兵器のすみやかな廃絶と、紛争と戦争のない世界の実現を強く望むものである。

よって、長与町民はこの理念達成のため、誇りと責任をもって、ここに「平和で安全な町」を宣言する。

1994年9月19日

長崎県西彼杵郡長与町



「平和コンサートinながよ」イメージイラスト提供

プロフィール

きむら ひとみこ
木村 瞳子

画家・絵本作家。長与町生まれ長与町育ち。主な著書に、『サンタクロースへの手紙』、『シーサイドライナー～海沿いを走る電車～』（ともに福島県の「矢祭もったいない図書館手づくり絵本コンクール」にて最優秀賞を受賞。）がある。2010年より、「平和コンサートinながよ」のイメージイラストを提供。

2018年10月20日～30日、チャリタブルトレード（長与町嬉里郷）にて個展を企画中。



Vol.19 ポストカードイラスト



Vol.19 プログラムイラスト





長与町立高田中学校吹奏楽部

高田中学校吹奏楽部は3年生8名、2年生11名、1年生5名、計24名で顧問の中谷恵里子先生の指導のもと、日々の音楽活動に励んでいます。

明るく楽しく笑いが絶えない雰囲気の中にも、美しく想いをこめた音色を追求する厳しい姿勢を忘れずに、毎日の基礎練習を大切に2、3年生が1年生に丁寧に指導しながら、音楽を創り上げています。

さまざまな方と音楽でつながり、音楽をとおして人としての生き方を学んでいるところです。

これからも、演奏できることへの喜びと聴いていただけることへの感謝を大切にして日々精進していきたいと思っています。

曲 目 紹 介

※「ハナミズキ」

作曲：マシコ タツロウ 編曲：金山 徹

2004年にリリースされた一青窈を代表する曲です。アメリカ同時多発テロ事件をきっかけに、平和への願いを込めて歌詞が書かれたそうです。

※「茶色の小瓶」

作曲：ジョセフ イーストバーン ウィナー 編曲：辻 峰拓

1869年に発表されたアメリカの民謡です。コミカルでかわいい曲なので、子供向けの曲として親しまれていますが、もともとは、お酒がテーマとなった歌詞が付けられています。

出 演 者

フルート	谷崎 凜歩 (3)	白木 友理 (2)	若松 美花 (1)
クラリネット	中村 心寧 (3)	ハント 雅 (2)	日高 慶 (1)
アルトサックス	中里 仁美 (3)	中村 孔紀 (1)	
テナーサックス	吉田明日実 (2)		
バリトンサックス	磯本しおり (2)		
ホルン	橋村 唯花 (3)	立花 優季 (2)	
トランペット	末吉 希望 (3)	岩永 蒼士 (2)	田中 夕愛 (1)
トロンボーン	岩永 大毅 (2)	松尾 香 (2)	
ユーフォニウム	田中 乃愛 (3)	小森 蘭々 (2)	
チューバ	香月 彩里 (3)	古館 実紗 (2)	
パーカッション	平古場涼香 (3)	辻田 詩音 (2)	尾川 翔彩 (1)
指揮	中谷恵里子		

() 内は学年



「平和の詩」朗読

今

長崎市立長崎商業高等学校 大畑 芽維

私にとって平和とは生きること
私にとって平和とはあたり前の生活を送ること
私にとって平和とは笑っていられること
私にとって平和とは明日があること
私にとって平和とは未来があること

あの日多くの人の
笑顔がなくなった
明日がなくなった
未来がなくなった
生きる希望がなくなった
あたり前の生活を送れなくなった

今できることに感謝し
今を生きたい

平和

長崎県立長崎北陽台高等学校 高山ありさ

平和とは何だろう
見えるものなのか
さわ
触れるものなのか
えが
描くものなのか

『平和』は
『大義』にもなる
『平和』は
『こじつけ』にもなる
「世界のために」
「人のために」と積むたびに

平和とは何にでも変化する
望むように
欲するように

人々が望む「平和」とは
進もうとする「平和」とは
平和とは何だろう

平和を見る

長崎市立長崎商業高等学校 元松 真菜

いつも見ている風景が
あたり前のものだとは思わない方がいい
今見えているものだって、幾度となく
姿を変えてできたものだろう
今見えているものだって、すぐに
姿を変えてしまうのだろう

いつも見ている風景が
あたり前のものだとは思わない方がいい
いつこの国が減ぶかもわからない
平和といわれるこの環境が
あたり前のものだとは思わない方がいい
いつ終わるかもしれないこの平和を
目に焼きつけて生きていく
いつも見ているこの風景を
あたり前にするために
いつでも見ることができるように

光

長崎県立長崎北陽台高等学校 木田 早紀

はじまりの日 ^{あか}紅に染まった世界で
光を探して 私は歩く
希望を胸に 私は歩く

どんなときも 心のままに
素直に 正直に まっすぐ進んでいく

悔しいとき 苦しいとき 泣いたっていい
いつでも君の前には 光る糸がある

光の糸が 繋がって 一本の道になる

ナナイロの街に 光の道は つづいていく





「平和の詩」掲載

戦争

長崎市立長崎商業高等学校 浦川 愛加

戦争

それは悲しみと絶望のハーモニー
 そこから生まれるのは
 繰り返す 憎しみ
 無数の犠牲者
 止まらない欲望
 絶え間ない恐怖
 枯れない血の涙
 悲劇は悲劇を生み
 悲劇は憎しみを生み
 憎しみは憎しみを生み
 その憎しみは悲劇をもたらす

平和な今だから語ることのできる
 平和の大切さ



あたりまえ

長崎県立長崎北陽台高等学校 柳原 明莉

あたりまえに青い空 あたりまえに白い雲
 そのあたりまえは犠牲の上に

黒い雨 淀んだ空 朽ち果てたあたりまえ
 水を求めて 助けを求めて
 もがき苦しみ死んでいった人々を
 あたりまえを知ることのできない人々を

忘れてはいけない 決して

幸せな時間

長崎県立長崎北陽台高等学校 平山美沙都

母の作る温かいご飯
 妹に勉強を教える時間
 友達との楽しい部活
 父と笑いながら見るテレビ

誰かと共に過ごせる毎日
 学校で勉強できること
 青い空に赤い夕焼け
 街中に響くたくさんの声

何気ないこの毎日を
 誰かと共に過ごせることが
 私にとって幸せな時間

幸せな毎日を送れる
 この平和な世界に感謝を





白い鳥

長崎市立長崎商業高等学校 平野 綺花

白い鳥がいた
大きく羽をのばして
羽ばたいた
雲一つない青い空
自由に鳥が飛んでいた

私は白い鳥をみた
背のびをして
歩き出した
たくさんある道の上を
自由に私は歩くんだ

平和だからできること

長崎県立長崎北陽台高等学校 森崎 鈴乃

平和だからできること
教室で交わす挨拶
友人との会話
教科書を読む
母の手作り弁当を食べる
家族が待つ家へ帰る

あたりまえ でも
全部平和だからできること

忘れないで
私達の平和は先人達の努力の上にある

平和だからできること
君と笑うこと
手をつなぐこと
空が青いこと
共に生きること

世界に平和を伝えること

つなげる平和

長崎市立長崎商業高等学校 川口 愛美

平和とは何か どんなことなのか
つながる平和 つながる平和

日常のささいなことが平和につながる
色んなことを感じる色んな瞬間
ご飯を食べる時 テレビを観る時
眠る時 家族との時間
遊ぶ時 おしゃべりする時
一緒にいる時 友達との時間

みんなの色んな「時」が
幸せな時であることで始まっていく平和
楽しく過ごすことができる日常があることで感じる
平和
日常でつなげる平和 つながる平和





「平和コンサートinながよ」合唱団

長与町内外で活動している長与プラム混声合唱団・オレンジハーモニー・高田コールファミリエ・コーロあやめ・長崎アカデミー男声合唱団の各合唱団団員有志がコンサートの趣旨に賛同し、平和のハーモニーを発信しようと「平和コンサートinながよ」合唱団として毎年5月に新たに結成されます。毎週土曜日に集まり、それぞれの曲で歌われる歌詞の願いとともにその合唱の響きの中に「調和の世界」への思いを皆で確認し、一人ひとりのパートの音そして合唱の和音を確認め合って8月に向かって練習を重ねてきました。思いを一つに「活気あふれる和の合唱」をお届けします。

曲 目 紹 介

※「千羽鶴」

作詞：横山 鼎 作曲：大島 ミチル

被爆五十周年記念歌として1947年の応募の中から選ばれた詞に、長崎出身の作曲家大島ミチルが作曲しました。平和への願いがこめられたこの曲は、1995年より毎年8月9日の平和祈念式典で合唱されています。原爆資料館では毎日11時02分に流されるほか、毎月9日に長崎市の防災行政無線でも放送され、長崎市役所の電話の保留音としても採用されています。平和への願いを込めて歌いたいと思います。

※「消えた八月」

作詞：栄谷 温子 作曲：黒澤 吉徳

この曲について作曲者は中高生へ向けて次のようなメッセージを寄せています。

「1945年8月、広島と長崎に原爆が投下され多くの方が亡くなりました。親子の別れの言葉もかわせず、なんのために死ななくてはならないのかもわからず、一瞬のうちに命を奪われたのです。その中には当時皆さんと同じ年頃の人でも大勢いました。将来への夢や希望を胸に過ごしていた毎日が一瞬のうちに消されてしまいました。この曲は不幸にして亡くなった方々へのレクイエムです。命の大切さ、平和や人類愛についても考えてみてください。この曲とのより深い結びつきが生まれてくるはずです。」

※「COSMOS」

作詞・作曲：ミマス 編曲：富澤 裕

音楽ユニット「アクアマリン」の代表作で8月1日～7日の「スターウィーク（星空に親しむ週間）」のテーマソングにもなりました。ライブを見た音楽教師が合唱アレンジをリクエストしたことがきっかけで生まれた合唱曲です。

※「大地讃頌」

作詞：大木 惇夫 作曲：佐藤 眞

カンタータ「土の歌」としてオーケストラと混声合唱により初演されて以来、半世紀以上にわたり多くの人に歌われてきました。7つの楽章より出来たこの組曲は、土への感謝、戦争への怒り・悲しみ、平和への祈りが表現されており、中でも終楽章の「大地讃頌」は中学校校内合唱コンクールの課題曲となったり、卒業式でも全体合唱として歌われています。私たちを生み育ててきた大地の声に耳を傾け、平和で確かな道を歩んで生きてゆけるよう祈りを込めて歌います。

— 出 演 者 —

指 揮 指方 浩

ピアノ 大塚 裕子

ソプラノ	和泉佳奈子	大久保美紀	尾形 睦	指方美智子	下野 薫	杉内富美子
	高塚 祐子	高橋 邦子	滝田みどり	丹羽 紀子	平野みどり	松本由美子
	水島 節子					

アルト	飯塚 直子	和泉千賀子	今川智恵子	今道 豊子	久原岐代子	小嶋美知子
	田中 昭子	長谷川佐紀子	姫野みどり	松尾 玲子		

テノール	青山 義憲	小方日出雄	下野 康文	朝長 初巳	平尾 眞一	益田 清
	山口 武昭	横田 建次	横田 碩稔	吉田 聿憲		

バ ス	石島 昭夫	金森 一郎	鎌田 正憲	河合 昭久	高林 弘	佃 鎮雄
	堤 慶司	長谷川則昭	丸田 國生			

プロフィール



「平和コンサートinながよ」合唱団 指揮 ^{さしかた ひろし} 指方 浩 (作曲家)

長崎県生まれ。大阪音楽大学作曲学科卒業、同大学大学院修了。近藤圭・平井康三郎氏に師事。大学院修了後長崎に帰り長崎大学附属中学校、活水高校で教鞭を執る。その後、新しい音楽教育を求め渡米、音楽指導法をコロンビア大学教授R・ペース氏に学ぶ。

現在、指方音楽工房を経営し、ピアノ・音楽指導にあたる傍ら、東京・大阪を始め全国各地の講習会・研修会で講師を務める。

作曲作品は合唱曲・器楽曲の他、長与北小学校校歌、長与第二中学校校歌、など十数校の校歌を作曲している。またその親しみやすいメロディーの歌曲や合唱作品は全国各地で様々な人たちに毎日のように歌われている。

日本音楽教育学会会員。長崎県音楽連盟会員。長崎ママのコーラス、コーロあやめ指揮者。アンサンブル「浩々」主宰。

プロフィール



「平和コンサートinながよ」合唱団 ピアノ伴奏 ^{おおつか ゆうこ} 大塚 裕子

活水高校音楽コース、フェリス女学院音楽科卒。長崎県新人発表演奏会、西日本新人紹介演奏会に出演。姉とピアノデュオ「デュオ・スール」を結成、連弾、2台ピアノによるアンサンブル活動をしている。18銀行混声合唱団他、複数の合唱団の伴奏者。長崎純心大学非常勤講師、長崎県音楽連盟運営委員。長崎音楽ボランティア協会会員。



私たち合唱部は、各種大会への出演をはじめ、ボランティア訪問演奏等も積極的に行っています。5月には、イオンタウン長与でも1周年記念イベントで演奏させていただきました。毎年、長与町で開催されている「平和コンサートinながよ」においては、地域の皆様に日頃の感謝の思いを込めて演奏しています。県内でも数少ない混声合唱団として少人数ですが、本物の合唱を極めていきたいという思いを胸に、ポリフォニーから現代音楽まで様々なジャンルの曲に取り組んでいます。本日は、心を込めて精一杯演奏させていただきます。

— 出 演 者 —

合唱部

松本 侑大 (2)	久松 咲季 (2)	山崎 美月 (2)	河野 玲 (2)
関 駿志 (1)	森 琢磨 (1)	石津 光基 (1)	土谷 真理 (1)
水谷 和楓 (1)	山本 亜弥 (1)	高谷 耀子 (1)	武田 弥久 (1)

指 導

田中 朋子

🎤 会場アナウンス

放送部

藤本 和佳菜 (1)

() 内は学年





出演者たちの練習風景





子どものための弦楽器講座

平和への思いを若い世代へ引き継いでいきたいとの願いから始まった「子どものための弦楽器講座」も、今年で10年目を迎えました。

今回は、小学生24名が参加し、人数が多くとても賑やかです。

ほとんどの受講生が弦楽器は未経験で、楽器の持ち方に始まり、弓の動かし方、弾くときの姿勢、楽譜の読み方など、初めて学ぶことがたくさんありました。

講座が開講してから、今日この舞台に立つまでわずか3ヶ月という短い期間ですが、子どもたちには、楽器からきれいな音を出せたときの嬉しさや、みんなと一緒に演奏する楽しさが芽生えています。

今日の舞台では、そんな子どもたちの成長と、音楽を奏でる楽しさをきっと皆様にも感じていただけることと思います。

小さなヴァイオリニストとチェリストたちに温かいご声援をお願いいたします。

曲 目 紹 介

※「チューリップ変奏曲」

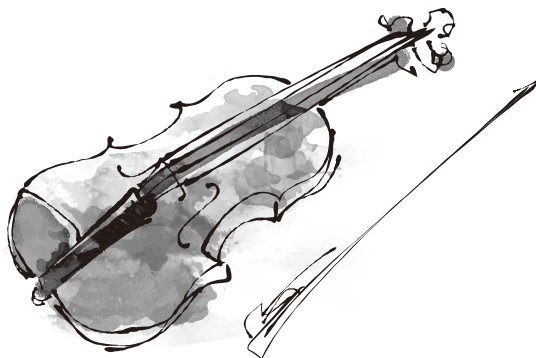
作詞：近藤 宮子 作曲：井上 武士 編曲：指方 浩

「さいた さいた チューリップのはなが」の歌い出しで親しまれている童謡『チューリップ』の旋律が1音1音ゆっくりと豊かなハーモニーに包まれ演奏された後、続く第1変奏では3拍子のワルツに乗って生き生きと楽しく表現されます。一転して第2変奏はマーチのテンポで歯切れよく未来への希望を持って進む感じで、そしてフィナーレは「どの花みてもきれいだな」と一人ひとりの個性が生かされる平和な世界への願いを込めて編曲しました。弦楽器講座受講生のみなさん、「あかしろきいろ」自分の色を輝かせて弾いてください。

※「よろこびのうた」

作曲：ベートーヴェン 編曲：指方 浩

「♪晴れたる青空 ただよう雲よ 小鳥は歌えり 林に森に」（岩佐東一郎：日本語詞）でおなじみのメロディー、ベートーヴェン作曲交響曲第九番「合唱」第4楽章の主題旋律です。「平和コンサートin ながよ」は2000年8月9日にこの曲の全曲演奏で始まりました。今日は弦楽器講座の皆さんが高らかに演奏します。穏やかにテーマが演奏された後、原曲の8分の6拍子の華やかで力強いところでは皆さんも思わず「♪心はほがらか よろこびみちて 見交わす われらの明るき笑顔 心は楽しく しあわせ あふれ 響くは われらのよろこびの歌」と歌いたくなることと思います。



— ◆ — 出 演 者 — ◆ —

受講生 ヴァイオリン

(小1)	朝日 春道	荒井 優来	吉川 京汰		
(小2)	飯野 翔星	岩永 杏樹	小野 心春	陶山 芽唯	
	林 凜央	山口 京花	吉村 一真		
(小3)	飯野 星香	平山 朱莉	平山 莉子	山口 真由	
(小4)	永川 絆	亀川 光莉	樋口 新菜	山口 温花	
(小5)	梶原 早瑛	永田 杏珠			
(小6)	小野耕太郎				

チェロ

(小1) 新村ゆう灯
(小3) 永川 歩夢
(小5) 上河 果林

指導者

指揮	齊藤 享		
ヴァイオリン	時津 仁美	渡邊到紫子	梶 耕輔
	山本 博子	佐藤 亜海	
チェロ	貞松 末一		
ピアノ	中野みさと		

プロフィール



子どものための弦楽器講座 指揮 さいとう あきら
齊藤 享

4歳よりヴァイオリンを始める。国際スズキ・メソッド音楽学院卒業。1992年フィラデルフィアに留学。グレン・ドーマン博士の人間能力開発研究所にてヴァイオリン指導も行う。

これまでに安田広務、鈴木鎮一、ジュリアン・マイヤーの各氏に師事。1996年スズキ・メソッド長崎支部を開設、子ども達の指導にあたる。長崎OMURA室内合奏団に所属。

2010年から毎年8月9日、長崎の平和祈念式典において、被爆者歌う会『ひまわり』の伴奏を務める。長崎県音楽連盟会員。長崎音楽ボランティア協会会員。その他、イベント会場や披露宴、チャペル等に於いて、クラシックに限らず多彩なジャンルでの演奏活動を各地で行っている。





「平和コンサートinながよ」 ジュネス弦楽アンサンブル

平和コンサートの中から「子どものための弦楽器講座」が生まれ、その芽を伸ばそうと、2009年に「ジュネス弦楽アンサンブル」は結成されました。

平和コンサートをはじめ、年4～5回ステージで演奏しています。

ーお互いを認め合い、美しい音を求めてみんなで一つの音楽を作り上げるー、豊かな情緒の育成を願い、取り組んでいます。

本日の3曲は、「平和の花」をテーマに選曲しました。皆さまの心にもお花が咲きますように。

曲 目 紹 介

※「世界に一つだけの花」

作曲：槇原 敬之

「ナンバーワンではなくオンリーワン」という主題のSMAPの大ヒット曲。歌詞の内容が平和コンサートにふさわしいと思い、選びました。

※「花のワルツ」 バレエ音楽「くるみ割り人形」より

作曲：チャイコフスキー

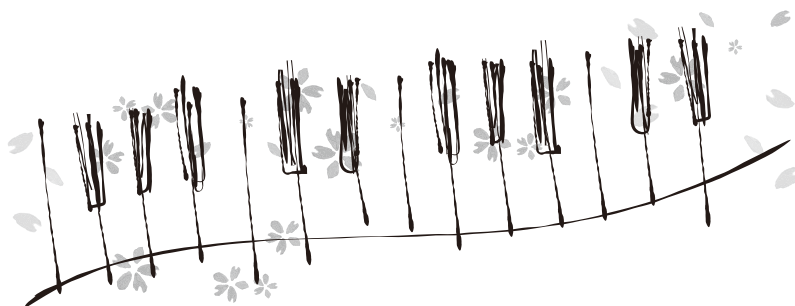
最初は優雅なワルツのメロディを和音で演奏します。フォルテになって盛り上がると、弦楽器の非常に豪華なワルツになります。その後も、魅力的なメロディが次々と現れ、途中少しメランコリックになりますが、最後はますます豪華になり、テンポもアップして、華麗に終わります。チャイコフスキーのメロディメーカーとしての才能、サウンドの魅力が凝縮されている曲です。

※「花は咲く」～なんの花が咲いたでしょう？～

作曲：菅野 よう子

2011年3月11日に発生した東日本大震災の被災地および被災者の物心両面の復興を応援するために制作されたチャリティーソングです。作詞者、作曲者ともに宮城県仙台市の出身で、作詞者岩井俊二は「亡くなった人たち、生き残った人たち、あの震災を遠くから心配していた人たち、3.11から今に至るまで、それぞれが一体どんな想いをしているのか、数行では到底描きようもない想いの、せめて僅かな片鱗でも書き留めることができたなら、という想いで書きました」と、また作曲者の菅野よう子は「100年経って、なんのために、あるいはどんなきっかけで出来た曲か忘れられて、詠み人知らずで残る曲になるといいなあと思っています」と語っています。

今回、この曲に有名な花の曲のメロディをいくつか取り入れてアレンジしてみました。さて、何種類のお花が咲くでしょうか。お楽しみください。



⇄ 出演者 ⇄

ヴァイオリン

4期生 日高 慶（中1）
 6期生 小松 風香（中1） 安樂 水稀（小6） 酒井日菜子（小5） 小松 涼音（小5）
 7期生 本多 陽愛（小6） 有働 杏奈（小3）
 8期生 小田川 尊（中2） コリンズ実彩（小5） 森廣 紀保（小5） 安藝 遙（小4）
 河本 一翔（小4） 山本 奈央（小4） 篠原 愛奈（小2） 中野 弾（小2）
 9期生 濱本 好（小4） 小林 椿（小2） シャルマ ジェイ（小2）
 溝上 琴乃（小2） 安樂 友那（年長） 有働 藍（年長）
 有 志 山崎 葉奈（小5）

チェロ

6期生 安樂 隼人（小4）
 8期生 高尾 千優（小5）

コントラバス 小林 徹（賛助出演）

指揮 志岐 光昭

ピアノ 大津 順子

指導者 齊藤 享 貞松 末一 渡邊到紫子 梶 耕輔 瀧上康一郎

プロフィール



「平和コンサートinながよ」ジュネス弦楽アンサンブル 指揮 ^{し き}志岐 ^{みつあき}光昭
 京都市立芸術大学音楽学部卒業、トロンボーン専攻。指揮を石橋義也氏に師事。
 元長崎県吹奏楽連盟長崎支部理事長。
 2017年秋、ジュネス弦楽アンサンブルの指揮者に就任。



長崎OMURA室内合奏団メンバー

長崎県央に位置するシーハットおおむら（さくらホール）を拠点に、プロの室内オーケストラとして、県内在住及び出身演奏家等を中心に2003年結成、迫昭嘉（ピアノ）を音楽監督として始動。2009年よりアーティストック・アドヴァイザーに松原勝也（ヴァイオリン）を迎え、さらなる演奏力や音楽性の向上に努めながら質の高い室内オーケストラを目指している。

2004年4月の正式発足以来、県内各地でコンサートを展開し、2005年に韓国において初の海外公演を成功させる。2008年、12年には世界的チェリスト“アントニオ・メネセス”、ヴィオリスト“今井信子”とも共演。

青少年育成事業として、スクールコンサートや弦楽セミナーも積極的に行っている。

2015年5月に起尾井ホールにて東京公演を開催。第25回長崎県地域文化章受章。シーハットおおむらの平成22年度「地域創造大賞（総務大臣賞）」受賞にも大きく寄与した。平成26年度「県民表彰優良団体（教育文化）」を受賞。2015年第2回JASRAC音楽文化賞受賞。2018年より認定特定非営利活動法人長崎OMURA室内合奏団となる。



出演者



フルート 永留 結花 ヴァイオリン 中西 弾
ヴィオラ 岡本 誓志 チェロ 田辺 清士



曲目紹介



※「フルート四重奏曲 ニ長調 作品5-1」 作曲：ボッケリーニ
Flute Quartet No.1 in D Major Op.5-1 - Luigi Boccherini(1743-1805)

ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン…

古典派音楽史に名を連ねる大作曲家たちの中にあってボッケリーニは、やや地味な印象かも知れない。しかし彼は、自らもチェロ奏者として活躍しながら、室内楽というジャンルを確立した古典派音楽の立派な立役者なのである。

ハイドンの人懐っこく楽観的な作風と対照的に、優美で時に憂いをおびた、ある意味女性的な作風から「ハイドン夫人」と呼ばれることもあり、その作品数は生涯100曲を超える。

さて、今回の演目である「フルート四重奏曲 ニ長調」が演奏会で取り上げられる機会はとても少ない。なぜならこの作品は、本当に彼自身が作ったのか未だ謎のままなのだ。

更に、彼の作品に見識が深いイヴ・ジェラルがまとめたボッケリーニの作品番号を辿るとこの作品の原曲は弦楽四重奏となっている。つまりこの曲は、「偽作」を「編曲」したという、何とも難しい位置づけにある作品なのである。

しかし謎多き曲の出生の秘密はさておき、この曲の「華やかさ」「優美さ」といったら天才モーツァルトの作品に決して引けを取らない。

あちこちに渡り散りばめられた奏者泣かせのトリル、楽曲の躍動感に繋がるシンコペーションのリズム。フルートのきらびやかなメロディーによくマッチするエッセンスが全楽章を通して宝石箱のように詰まっている。本当は誰が作ったのか今となっては知ることもできないが、その不思議なエピソードさえ楽しみたい。なるこの作品を楽しんでいただきたい。



永留 結花 (Flute)

長崎県大村市出身。武蔵野音楽大学音楽学部フルート専攻科卒業。同大学卒業演奏会、新人演奏会に出演。第34回長崎県新人発表演奏会に出演、準グランプリ受賞。平成21年、22年度長崎市アウトリーチ事業登録アーティスト。第59回 西日本国際音楽コンクール最高位受賞。

これまでにフルートを演砂由美子、中山早苗、吉岡アカリの各氏に、室内楽をカールマン・ベルケシュに師事。現在、OMURA室内合奏団団員。活水高校音楽コース非常勤講師。フルートデュオ「La×pan」、インストバンド「Dejima quartet」メンバー。



岡本 誓志 (Viola) (賛助出演)

長崎市出身。千葉大学理学部化学科卒。3歳よりヴァイオリンを始め、弾くんの弾くヴィタリ作曲シャコンヌに憧れて、苦しい時も泣きながらヴァイオリンを続ける。長崎ジュネス、諫早交響楽団、長崎北高校オーケストラ部等で合奏、音楽の楽しさを学ぶ。大学進学を期に、ヴィオラを弾いている両親の影響を受けて、また体格の良さを活かして、ヴィオラを始める。これまでにヴァイオリンを川口千穂、片田江智子、松岡洋子の各氏に、ヴィオラを小山貴之氏に師事。第20回ながさき「若い芽」のコンサートにヴァイオリンで、第42回長崎県新人演奏会にヴィオラで出演。



田辺 清士 (Cello)

愛知県名古屋出身。9歳よりチェロを始める。長崎大学工学部機械システム工学科卒業後、長崎大学大学院教育学研究科音楽教育専修を修了。チェロを林良一（元名古屋フィル首席）、宮田浩久（九州交響楽団）の各氏に師事。県内各地で室内楽を中心に活動している。長崎

OMURA室内合奏団コントラバス奏者、亀子政孝と低弦アンサンブルBottom line strigsを結成し、クラシック曲の演奏のみでなく詩の朗読と共演する等様々な活動を行っている。長崎OMURA室内合奏団団員。長崎県音楽連盟会員。2013-2014年度長崎市アウトリーチ事業登録アーティスト。



「平和コンサートinながよ」弦楽アンサンブル

この弦楽アンサンブルは、長与町内外より情熱のあるメンバーが集い、5月から練習を開始しました。弦楽器のもつ音色の深さや柔らかさ、ハーモニーの美しさをメンバーと追求しながら今年も長与でしか聴けない演奏をお楽しみください。

曲 目 紹 介

※「ディヴェルティメント へ長調K.138」

作曲：モーツァルト

この曲は、当時16歳のモーツァルトが作曲した弦楽四重奏のためのディヴェルティメントである。ザルツブルクで作曲されたことからK.136～138をまとめてザルツブルク・シンフォニーとも呼ばれている。

第1楽章

印象的な分散和音ではじまりその後はなめらかで瑞々しいフレーズが続き弦楽器の響きの輝かしさが冴える。流れるようなフレーズに輝くような彩りを加えながら軽快なリズムに乗って曲は進んでいく。

第2楽章

ゆったりとしたヴァイオリンのフレーズが寄り添うようにやさしく、甘く、あたたかく、そしてなめらかに進む。フレーズを描く曲線から時折輝きさえも感じるような美しい響き、また低音の伴奏にしっかりと静かに聴かせるヴァイオリンのメロディが魅力的。

第3楽章

勢いのあるフレーズから元気に走り出す。次々と軽快なフレーズが飛び出す。ピチカートので可愛いメロディが出たり、また爽快に走ったり、若さとエネルギーに満ちた曲になっている。

出 演 者

コンサートマスター	中西 弾						
第一ヴァイオリン	藤丸 哲司	渕上康一郎	野口 明子				
第二ヴァイオリン	岩永 実波	岩村加穂利	佐藤紀代子	時津 仁美	野口 誠		
ヴィオラ	岩永 雅子	小鍛冶美恵子	齊藤 享				
チェロ	川島 竜郎	得田 有里					
コントラバス	小林 徹						

プロフィール



「平和コンサートinながよ」弦楽アンサンブル コン서트マスター ^{なかにし}中西 ^{だん}弾

福岡教育大学音楽科芸術コース卒業。長崎県新人発表演奏会、西日本出身新人紹介演奏会に出演。第10回宮日音楽コンクールにて優秀賞を受賞。川口千穂、故松村英夫、松野弘明、豊嶋泰嗣の各氏に師事。アルカスSASEBOのヴァイオリンセミナーを毎年受講。2009年イギリスにてコッツウォルズ男声合唱団創立60周年記念コンサートにバハストリングアンサンブルメンバーとして参加。2006～2009年、ピアノ、アコーディオン、ヴァイオリンによるアコースティックバンドRingin' Bells Rondo Clubに在籍。現在、九州を中心にソロ、室内楽、オーケストラなどで活動中。長崎OMURA室内合奏団団員。



2018平和コンサートinながよ

千羽鶴

作詞：横山 鼎 作曲：大島 ミチル

平和への誓い新たに 緋の色の鶴を折る
清らかな心のままに 白い鶴折りたたみ
わきあがる熱き思いを 赤色の鶴に折る

平和への祈りは深く 紫の鶴を折る
野の果てに埋もれし人に
黄色い鶴折りたたみ
水底に沈みし人に 青色の鶴を折る

平和への願いをこめて 緑なる鶴を折る
地球より重い生命よ 藍の鶴折りたたみ
未来への希望と夢を 桃色の鶴に折る

未来への希望と夢を 虹色の鶴に折る

COSMOS

作詞・作曲：ミマス

夏の草原に 銀河は高く歌う
胸に手をあてて 風を感じる
君の温もりは 宇宙が燃えていた
遠い時代のなごり 君は宇宙
百億年の歴史が
今も身体に流れてる
光の声が高きこえる
君も星だよ みんなみんな
時の流れに 生まれたものなら
ひとり残らず 幸せになれるはず
みんな生命を燃やすんだ
星のように 蛍のように
光の声が高きこえる
僕らはひとつ みんなみんな
光の声が高きこえる
君も星だよ みんなみんな

消えた八月

作詞：栄谷 温子 作曲：黒澤 吉徳

熱い光の中で 僕は一枚の絵になった
熱い風の中で
君はひとつの石像になった
光に打たれて 僕は壁にとけた
風に吹かれて 君は大地に消えた

僕の好きな八月は 蟬と向日葵^{ひまわり}の夏
君の好きな八月は 銀河^{もと}の下星祭り

しかしすべては消えた
熱い風と毒された空気の中で
血の一滴すら流すことなく
僕は影になった 君は物になった
故郷^{ふるさと}に 黒い雨が降る

熱い光の中で 僕は一枚の絵になった
熱い風の中で
君はひとつの石像になった



vol.19 歌詞集

大地讃頌 作詞：大木 惇夫 作曲：佐藤 眞

母なる大地のふところに われら人の子の喜びはある
大地を愛せよ 大地に生きる人の子ら その立つ土に感謝せよ

平和な大地を 静かな大地を 大地をほめよ たたえよ 土を
恩寵の豊かな大地 われら人の子の 大地をほめよ たたえよ 土を
母なる大地を たたえよ ほめよ たたえよ 土を
母なる大地を ああ たたえよ大地を ああ

ふるさと 作詞：高野 辰之 作曲：岡野 貞一

- | | | |
|-------------|------------|-----------|
| 1、うさぎ追ひし彼の山 | 2、いかにいます父母 | 3、志をはたして |
| こぶな釣りし彼の川 | つつがなしやともがき | いつの日にか帰らん |
| 夢は今もめぐりて | 雨に風につけても | 山は青きふるさと |
| 忘れがたきふるさと | 思いいづるふるさと | 水は清きふるさと |

JASRAC 出 1806331-801



長与町町歌

— 明日をひらく —

作詞 山田 喜孝
作曲 指方 浩

Allegretto

C mf

1. みど り よ や ま よ さ や か な か ぜ よ そ ら
2. ひか ん ば よ う か み よ さ や か な か ぜ よ そ ら
3. ぎ かん ば よ う か み よ さ や か な か ぜ よ そ ら

はれく - まし す み て こ と の お の や ま
く - - や さ かし い な と の う わ か か が

のぞ - すい その のま に ひ ら き けい た きつ ると う っ
や - - く れ ま き ちし いた だ よ つ とへ -

Am

くたい しかわ いな ささ とと わ が ま ま ち な が よ
たい かわ な さ とと わ が ま ま ち な が よ

f F

1~3. あ い と こ こ ろ と ふ れ あ い の

F

ゆ め と のぞ み が ふ く ら ん - で

C mf

あ した を ひ ら く こ え は ず む あ し

Am

た を ひ ら く こ - え は ず む

※ (繰り返し)

三、銀波よ 海よ さやかな風よ
広く優しい 琴の海
輝く歴史 漂って
平和な里 わが町長与

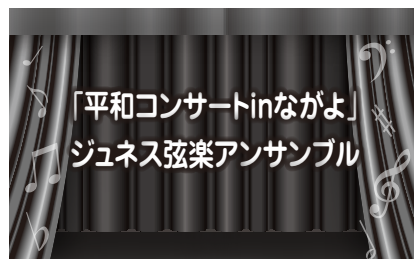
※ (繰り返し)

二、光よ 川よ さやかな風よ
流れ静かに 長与川
川沿いの町 生き生きと
豊かな里 わが町長与

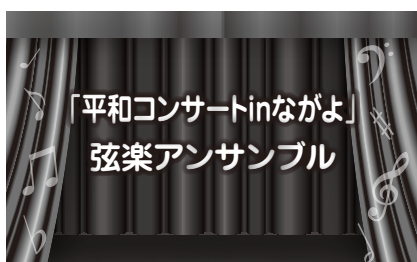
一、緑よ 山よ さやかな風よ
空は真澄みて 琴の尾の
山のすそ野に ひらけたる
美しい里 わが町長与
※愛と心と ふれあいの
夢と望みが ふくらんで
明日をひらく 歓声はずむ
明日をひらく 歓声はずむ

町歌「明日をひらく」

平成元年、長与町町制20周年を迎えるにあたり、みんなで歌える町の歌をということで制作されました。ハ長調で書かれた明るくリズムカルなこの曲は、記念式典における長与町の全合唱団団員100余名の歌声による発表以来、町内の各種行事、音楽祭、発表会、公民館講座の中で歌われ、夏休み・冬休みには小中学生の帰宅の放送としてもその軽やかなメロディーが町内に流れています。今日は出演者全員により演奏されます。どうぞ皆様も一緒に“♪明日をひらく我が町長与”をお歌いください。



出演者たちの練習風景





14:00開演 16:00終了予定

1 町長挨拶

2 ハナミズキ
茶色の小瓶

長与町立高田中学校吹奏楽部
指揮 中谷恵里子

3 「平和の詩」朗読

朗読 長崎県立長崎北陽台高等学校生徒
長崎市立長崎商業高等学校生徒
バックコーラス
長崎県立長崎北陽台高等学校合唱部

4 千羽鶴
消えた八月
COSMOS
大地讃頌

合唱 「平和コンサートinながよ」合唱団
長崎県立長崎北陽台高等学校合唱部
指揮 指方 浩
ピアノ 大塚 裕子

休憩 (10分間)

5 チューリップ変奏曲
よろこびのうた

子どものための弦楽器講座 受講生
指揮 齊藤 享
ピアノ 中野みさと

6 世界に一つだけの花
花のワルツ
バレエ音楽「くるみ割り人形」より
花は咲く

「平和コンサートinながよ」ジュネス弦楽アンサンブル
指揮 志岐 光昭
ピアノ 大津 順子

7 ボッケリーニ
フルート四重奏曲 ニ長調 作品5-1

長崎OMURA室内合奏団メンバー
永留 結花、中西 弾、田辺 清士、岡本 誓志 (賛)

8 モーツァルト
ディヴェルティメント ヘ長調K.138

「平和コンサートinながよ」弦楽アンサンブル
コンサートマスター 中西 弾

9 長与町町歌
「明日をひらく」

長与町立高田中学校吹奏楽部
長崎県立長崎北陽台高等学校合唱部
「平和コンサートinながよ」合唱団
「平和コンサートinながよ」弦楽アンサンブル
「平和コンサートinながよ」ジュネス弦楽アンサンブル
長崎OMURA室内合奏団メンバー
指揮 指方 浩

10 ふるさと

平和コンサート出演者一同
指揮 指方 浩

会場アナウンス：長崎県立長崎北陽台高等学校放送部

主催：長与町・長与町教育委員会・平和コンサートinながよ実行委員会 共催：長与町文化協会